



madame

# FIGARO

フィガロジャポン

japon

パリ通によるパリ好きのための街ガイド。

5

サンローランと歩くパリの街。



Mai 2024 No.573



あの人が愛するパリ案内。

「保存版」

Paris, encore et toujours!

feel good beauty  
気持ちいいから  
キレイになる!

MODE

シャネル & NewJeans MINJI  
シャネル & 片山友希

MODE

飯豊まりえとパーバリー、  
花開く時。

MODE

ミュウミュウ  
ロロ・ピアーナ

BIJOUX

ヴァン クリーフ & アーベル  
ブシュロン

「パリ通が語る街ガイド」

# あの人々が愛する パリ案内。

いつの時代も旅人を魅了する唯一無二の街、パリ。  
この街に恋し、暮らし続けるパリジャンやパリジェンヌ、  
何度もこの街を訪れる生粋のパリラバーたちに、  
パリの楽しみ方やお気に入りアドレスを教えてもらいました。  
世界で活躍するクリエイターや映画俳優が通う美的空間、  
ファッション業界人が注目する最新モード事情、  
グルマンお墨付きの新レストランにカフェまで網羅！  
パリを愛する人たちのメッセージで作った  
永久保存版ガイドです。

# UX



# Aiment



# Pour Tous Ce Qui Paris



●1ユーロ=約163円(2024年3月現在) ●日本から電話をかける場合、フランスの国番号33の後、市外局番の最初の0を取ります。フランス国内では掲載表記どおりにかけてください。  
●各紹介アドレスのデータ部分の☒は地下鉄の駅を示しています。 ●掲載店の営業時間、定休日、商品・料理・サービスの価格、掲載施設の開館時間やイベントの開催時期などは、取材時から変更になる可能性があります。  
●オリンピック・パラリンピック開催中は、会場付近の安全・交通規制が厳しくなったり、店の営業時間に大きな変更や影響が出る可能性があります。ご了承ください。

# des Artistes

# 4人の表現者が愛するパリ。

俳優やパフォーマンスアーティストなど、現代のパリの文化を牽引する4人の行きつけを紹介。

photography: Louis Teran (Madame Figaro)

styling: Hugo Toucas (P.Leroy-Beaulieu), Mathilde Camps (L.Walk)

hair & makeup: Pierre Sever (G.Nakache), Flavio Nunes (I.Hair)

hair: Rémy Pilot (P.Leroy-Beaulieu) makeup: Déphine Sicard (P.Leroy-Beaulieu)

text: Marilyn Letertre (Madame Figaro, P74, P76-77), Marion Géliot (Madame Figaro, P75)

coordination: Masae Takata (Paris Office)



## ■ 推薦人

### ジェラルディン・ナカシュ

俳優、監督、脚本家

1980年2月16日生まれ。映画『プレイヤー』(2012年)や『パリ・エクスプレス』(08年)などに出演。監督・脚本家デビュー作『オール・ザット・グリッターズ』(10年)で注目を集める。パリ郊外のピュトーで育ったが、パリ中心地に移り住んでからは、「建築、エネルギーシユな人々、文化の豊かさなどに影響を受け、この街の虜になった」と語る。 @geraldinenakach

Géraldine Nakache  
尊敬できる設立者の施設を訪れる。

## Bibliothèque Marguerite-Audoux

マルグリット=オドゥー図書館

◆ 北マレ

雨の日に子どもと過ごす、贅沢な読書の時間。

北マレに位置する区立図書館。「雨の日に子どもと行くのに最適な場所です。最近、私自身は時間がなくてあまり本を読まなくなりましたが、娘には読書を通して学び、伝えることの大切さを理解してほしい。娘が本を読むのを見るのがとても好きなのです」。蔵書には一般書のほか、ユダイズムの歴史、労働者の歴史、ポエジーの専門書があるのもこの特徴。文化的なプログラムの提案も。

10, rue Portefoin 75003 ☎ 01-44-78-55-20

🕒 ARTS ET MÉTIERS 🕒 13:00~18:30(火、木)

10:00~18:30(水) 13:00~16:30(金)

10:00~17:30(土) 🌞 日、月、祝

www.paris.fr/lieux/

bibliotheque-marguerite-audoux-1665

©GeraldineMartens



## Babka Zana

バブカ・ザナ

◆ サウス・ピガール

中近東の甘〜いパンを友人が営むベーカリーで。

「サマーキャンプで出会った幼なじみがオーナーの店。スタイリストで3人の手持ちだった彼女は、35歳の時にキャリアを投げ打って夫とレバノンスタイルのベーカリーを開業。そんなキャリアの進め方も手本にしたいし、もちろんパンの味もすっごくおいしい!。味も大きさもさまざまなバブカやクロワッサンのようなルガーなど、パリで異国の味を体験してみては?

65, rue Condorcet 75009 ☎ 09-88-02-91-43

🕒 PIGALLE, ANVERS 🕒 8:00~17:30(火~木)

8:00~18:00(金、土) 8:30~14:00(日)

🌞 月 www.babkazana.com

## Musée Transitoire

トランジットワール美術館

◆ パスティュー

移動式ミュージアムでアヴァンギャルドなアートに触れて。

スイス人女性のロミナ・シャマが2019年に設立した移動式ミュージアム。展示ごとに自動車修理工場や元オフィスビルなど、改築中の建物に拠点を換え、アートプログラムを提案している。「ロミナが文化や学びを無料で提供する場を作ったことやプロジェクトにとっても情熱的な気持ちで臨んでいることに、感銘を受けました」。現在は「忘却の権利」と題した展示が開催中。事前予約をして足を運んで。



44, boulevard de la Bastille 75012 ☎ なし

🕒 BASTILLE 🕒 14:00~19:00 🌞 日~木 入場無料

www.museetransitoire.com

# Bonnes Adresses par



## Irié

イリエ

● サンジェルマン

時代を超えてパリジェンヌに愛される日本人ブランド。

洗濯機で洗える素材を使った“イリエウォッシュ”でおなじみ、1983年に設立したデザイナー入江末男によるブランド。「彼のデザインは流行に左右されることもなく、流行遅れでもない。以前、ここで親子が夢中で洋服を探している姿を見て、時代を超えて支持され続けていることに私もうれしくなりました。彼がいまなお美しいものを創り続けていることは本当に素晴らしいことです」

8, rue du Pré aux Clercs 75007

☎ 01-42-61-18-28

📍 RUE DU BAC, ST GERMAIN DES PRÉS

🕒 10:15~19:00(月~金)

10:00~19:00(土)

📅 日、祝日の一部 <https://irieparis.com>



「大好きな14区の通り、パッサージュ・ダンフェール。真っ白な壁の道は、シチリアの村で車椅子に乗った老婦人をマフィアが連れ出す……フェリーニの映画のワンシーンを思い出す」

ドレス、ジャケット(ともに参考商品) / サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ (サンローラン クライアントサービス)

## Philippine Leroy-Beaulieu

映画業界や文化の歴史背景を肌で感じる名所。



## L'Arlequin

ラルルカン

● サンジェルマン

映画ファンが唸る、国際色豊かなプログラム。

フォントが印象的な、アールデコ調のファサードが迎えてくれるこの映画館の歴史は長い。1934年にル・リュクス・レンヌの名で開業、62年にジャック・タチがオーナーとなり、ラルルカンと命名した。カラー映画『のんき大将脱線の巻』(49年)を初上映した場所でもある。その後78年から93年まではコスモスの名でソ連映画のみを上映。ソ連解体後、再びラルルカンと改名されていまにいたる。「プログラムがとにかくすごい! ぜひヨーロッパ映画の遺産を観に訪れて」

76, rue de Rennes 75006 ☎ 01-45-44-28-40

📍 ST SULPICE

[www.dulaccinemas.com/cinema/2625/l-arlequin/le-cinema](http://www.dulaccinemas.com/cinema/2625/l-arlequin/le-cinema)



## L'Hôtel

ロテル

● サンジェルマン

芸術と文化の街に佇む、古典的なブティックホテル。

「作家、オスカー・ワイルドがたびたび滞在し、最期を迎えた場所として知られるこのホテル。内装に心奪われました。宿泊者にしか知り得ない魅力的で秘密めいたホテルは、あなたを夢へと誘い、想像力を刺激してくれるはず」。ジャック・ガルシアがインテリアデザインを手がけたユニークな客室の数々。孔雀の壁紙が荘厳なオスカー・ワイルドスイートルームも必見。



13, rue des Beaux-Arts 75006 ☎ 01-44-41-99-00

📍 ST GERMAIN DES PRÉS 全20室 全室バスタブ付き

スタンダード475ユーロ〜、スイート1,500ユーロ〜 朝食25ユーロ

🕒 バー7:00~翌1:00 ※カクテルは17:00~

[www.l-hotel.com](http://www.l-hotel.com)

## 👤 推薦人

フィリピーヌ・ルロワ=ポーリュウ

俳優

1963年4月25日生まれ。『さよなら夏のリセ』(1983年)で映画デビュー。『赤ちゃんと乾杯!』(85年)でセザール賞有望若手女優賞ノミネート。Netflix『エミリー、パリへ行く!』シルヴィー役で注目を集める。ローマで生まれ育ち、10代でパリに移る。数年前に両親の出会いの地であるサンジェルマン・ド・プレに引っ越してから、6区の虜になったそう。

📍 philippineleroybeaulieu

▼ 推薦人

レオ・ウォーク

ダンサー

1994年11月16日生まれ。主にコンテンポラリーとブレイクダンスを踊るダンサーだが、振付師、舞台監督、映像監督、モデル、デザイナーなど多岐にわたり活動。2018年に自身のダンスカンパニー、La Marche Bleueを設立。シャトー・ドー、サンジェルマン・デ・プレ、ベルヴィルなど千差万別で刺激的なバリが好き。

◎ leowalk

コート、ジャケット、トップ、パンツ (すべて参考商品) / 以上ルメール(エドストローム オフィス)



Centre Pompidou

ボンビドゥ・センター

● マレ地区

自身のクリエイティブに反映した  
独創的な彫刻家のアトリエ。

美術館や映画館、カフェなどが一体となったボンビドゥ・センター。その中で彼のお気に入りには近代美術館の附属展示空間にある彫刻家、コンスタンティン・ブランクーシの再構築されたアトリエ。「2023年のダンス公演、メゾン・ダン・ファスの舞台美術のインスピレーション源のひとつ。この質感と曲線の組み合わせに心酔しています。ここにいるだけで心が落ち着きます。残念ながら25~30年まで休館予定。

place Georges-Pompidou 75004  
☎ 01-44-78-12-33 📍 RAMBUTEAU  
🕒 11:00~21:00  
※企画展の一部のみ、木曜は23:00まで  
※入場は閉館1時間前まで 🔥火  
👤一般 15ユーロ  
www.centrepompidou.fr

Léo Walk

パフォーマンスに影響をくれる、ファッションとアート。



14, rue Ternaux 75011  
☎ 01-43-55-07-30  
📍 PARMENTIER, OBERKAMPF  
🕒 8:30~19:30(月~土)  
9:00~18:00(日) 無休  
www.chambelland.com

Chambelland

シャンペラン

● オベルカンフ

身体を気遣うために、  
グルテンフリーのパン屋。

「私はグルテンを食べないんです。ここは、我々のような人でもおいしいパンと出合える貴重なベーカリー。自分へのご褒美にペストリーを食べるなら、ここで決まり!」。すべてオーガニック、グルテンフリーで無添加。米粉やそば粉をベースに作られた、栄養価が高い身体に優しいパンだ。シュウクリームやタルトなどのペストリーもおすすめ。テラス席でいかが?



Walk in Paris

ウォーク・イン・パリ

● サンマルタン運河

パリシクな  
ストリートファッションを提案。

「2013年、友人でありパートナーでもあるガリー・ヌヴーと一緒に立ち上げたファッションブランド、ウォーク・イン・パリ。2年前に初のブティックをオープンしました。ヒップホップカルチャーにインスパイアされていますが、ポヘミアン×ストリートなど、ほどよいデザインのバランスを意識しています。若者が手に取れるように手頃な価格にしました。帽子各150ユーロ

32, rue Yves Toudic 75010  
☎ なし  
📍 RÉPUBLIQUE,  
JACQUES BONSERGENT  
🕒 14:00~19:00(日、月)  
11:00~19:00(火~土) 無休  
https://walkinparis.fr

ジャケット(参考商品) / Walk in Paris × Schott NYC (Walk in Paris)  
トップ、パンツ(ともに参考商品) / ともにWalk in Paris



芸術一家の思い出が詰まった、愛着のある場所。

India Hair

トップ¥75,900、パンツ¥107,800/パトウ(イザ)



## Le Roch Hôtel & Spa

ル・ロック・オテル&スパ

📍 サントノレ

緑あふれるホテルのテラスで寛ぎの時間を過ごす。

「仕事でパリを訪れた時によく泊まるホテルです。サラ・ラヴォワヌが手がけた内装がエレガントで、居心地も良い。いま田舎暮らしの私にとって、菜園のあるテラスにはとても癒やされます。街中に自然を取り戻す活動には大賛成です」。オペラ座、ヴァンドーム広場、ルーヴル美術館にもアクセスが良い立地ながら、落ち着いた滞在が楽しめる。館内には図書室、バー、レストラン、コダージュのスパとプールまで。

28, rue Saint-Roch 75001

☎ 01-70-83-00-00 📍 TUILERIES, PYRAMIDES

全37室 バスタブ付き19室 スタンダード550ユーロ～、スイート950ユーロ～ 朝食込み

🕒 レストラン12:00～14:00L.O.、19:00～22:00L.O.、バー12:00～24:00

www.leroch-hotel.com

👤 推薦人

インディア・ヘア

俳優

1987年生まれ。陶芸家の父、彫刻家の母、演出家の祖父、元女優で画家の祖母というアーティスト一家に生まれ育つ。故郷のシノンを離れ、ナント音楽院、その後パリの音楽院に入学。『カミーユ、恋はふたたび』(2012年)で、セザール賞を2部門でノミネート。近年は、『ジャンヌ・デュ・バリー 国王最期の愛人』(23年)でアデレード役を務めた。📧 india.hair



## Saint-Sulpice Céramique

サンシュルピス・セラミック

📍 サンジェルマン

世界中の作家と出合える、年に一度の陶器市。

今年で27回目を迎える陶器市。伝統的なものからコンテンポラリーなものまで、出品されるジャンルはさまざま。「両親と一緒に毎年訪れていて、幼い頃から大好きな催しでした。陶芸家は近辺に住んでいることが多く、6区のシックな雰囲気とのコントラストがいつも私を楽しませてくれます」。今年は世界各国から110人のアーティストが参加予定。会場にはカフェや若手作家コーナー、無料の陶芸ワークショップも!

place Saint Sulpice 75006 ☎なし 📍ST SULPICE

🕒 6/27 13:00～20:00 6/28 11:00～22:00

6/29・30 11:00～20:00

入場無料

www.saintsulpiceceramique.com



## Zèbres

ゼーブル

📍 マレ

新旧入り混じるアートを歴史的建造物の中で体験。

アーティストとコレクターの家庭に生まれたアントナン・ガティエが2018年にマレの18世紀の歴史的な建物の中に開業したギャラリー。「私の母の動物彫刻を筆頭に、義父の彫刻や兄夫婦の絵画も扱っています。家族の作品があることへの愛着だけでなく、新たなアーティストを発見できること、ユニークなディスプレイの仕方も魅力的。2階には高級デザイナーズ家具も!」

14, rue François Miron 75004

☎ 01-43-36-59-53

📍 HÔTEL DE VILLE, ST PAUL

🕒 14:00～18:30(火)

10:30～13:00、

14:00～18:30(水～土)

※月曜はアポイント制

📅 日 ※祝不定休

www.zebres.paris

